

ミュージアムをとりまく課題や今後の可能性を、ICOM京都大会で国内外の関係者と共に考え、日本のミュージアムの未来につなげるしくみ(流れ)

2018.10
ICOM 京都
大会準備室



1 ICOM京都大会まで ~2019.9
日本国内でのワークショップ
“ミュージアムの課題と可能性”

ワークショップ対象者:
ミュージアム関係者、文化・芸術関係者、
ミュージアム来館者・利用者、地元コミュニティ
etc.



- ・国内各地で開催
- ・成果はICOM京都大会HP・Facebookで発信

トピックの抽出

- ***** etc.
- ***** etc.
- ***** etc.

ICOM京都大会運営委員
学術・研究チームの助言

大会HP & Facebook



対話の内容は、“グラフィックレコーディング”
として発信 (英語訳付)



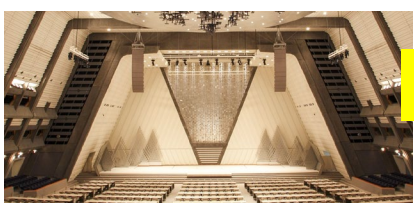
ICOM 京都大会中 2019.9.2-4

2 パートナー・セッション (ワールドカフェ/ ダイアログWS)
“みんなで考えるこれからのミュージアム”
日本国内でのWS(ワークショップ)や、ICOM-MDPP(博物館の定義見直しの委員会)の活動から出てきたトピックをもとに、海外の参加者を交え意見交換を行なう対話形式のWSを開催する。



大会メイン会場

- “グラフィックレコーディング”を揭示
- これまでの国内でのWSの対話内容を大会の会場に掲示し、セッションをする際のアイデアや対話を生み出す役割を果たす
- パートナー・セッションやプレナリーセッションの内容もグラフィックレコーディング・揭示し、それを見た参加者どうしの意見の誘発を促す



3 プレナリー・セッション “博物館の定義”
ICOM MDPP委員会によるICOM規約における「博物館の定義」見直しのためのセッション → ICOM「博物館」の新定義発表

2019.9.4

ICOM京都大会後 2019.10~2020.3

4 シンポジウム “日本のミュージアムの未来”
京都大会のパートナー&プレナリー・セッション、各IC(国際委員会)のセッションで話し合われた内容を報告し、世界の動向を知るとともに日本のミュージアムが今後どうあるべきかを今一度考える機会とする

シンポジウム参加者:
国内ミュージアム関係者
(特に大会に参加できなかった人)
ICOM京都大会運営委員
(IC窓口担当者、学術・研究チーム)
ICOM大会参加者 etc.

日本のミュージアムの制度や法律などの改正、ミュージアムをとりまく環境の改善をはかる契機・きっかけとする